

第 3 学年 図画工作科 学習指導案

3年1組 指導者 岡崎 典子

題 材 光がすき通る「ゆめのせかい」をつくろう

1 本題材で求める「学びを実感する子どもの姿」

- ◇ 光を通したときの見え方の変化を味わいながら、光を通す材料の組合せから感じたことなどを立体に表したり、作品などを楽しんで見たりしている
- ◇ 光を通す材料の組合せから感じたことなどから、自分の思いに合う「ゆめのせかい」を思い浮かべたり、形や色、組合せの感じを捉えたりしている
- ◇ 仲間と相互鑑賞し、自分と仲間の表し方の共通点や相違点などの気づきを伝え合いながら、自分の作品を見直したり、新しい発想を加えたりしている
- ◇ 光を通す材料の組合せを試したり仲間と作品を見合ったりして学ぶよさや、自分や仲間の作品のよさや面白さを感じ取っている

2 題材について

本学級の子どもたちは、「カラフルハッピーフレンド」で、いろいろな色の紙や袋の形の組合せ方を様々に試しながら、色や形を楽しんで立体に表すことを経験している。その際、仲間の作品のよさや工夫した点を見付け、自分の作品に取り入れようとする姿が見られた。このような子どもたちが、光を通す材料の組合せの感じを基に仲間とかかわり合いながら、自分のイメージに気付く。このことは、自分の感じ方や見方を深めることにつながると考えた。

本題材は、光を通す材料の組合せ方を工夫して、思い付いたものになるように立体に表す学習である。子どもたちは、材料の形を変えたり材料を組み合わせてたりして、自分のイメージをふくらませながら、光がすき通る「ゆめのせかい」をつくる。そして、作品を仲間と並べて、光を通したときの見え方の変化を味わい、自分や仲間の作品のよさや面白さを話し合う。

上記のような学びにおいて、子どもたちが「どのように材料を組み合わせると、光を通したときに面白く見えるか」という問いをもち、追究していく。その中で、仲間と共に試行錯誤しながら、自分のイメージと形や色、組合せの感じとの関係を考えていくことを大切にしたい。そうすることで、自分のイメージを豊かに広げていくことができると考える。

そこで、次の支援を具体化する。

- 仲間と共に材料とふれ合ったり、光を当てたりする「試す」場を設定する。そうすることで、自分の感覚や活動をとおして、光を通す材料の組合せの感じを捉えることができるようにする。
- 子どもたちの感覚や活動をとおして発せられた言葉やつぶやき、製作途中の作品の写真などを、形や色、組合せの感じを基に板書上に分類・整理する。そうすることで、表し方を仲間と比較したりつなげたりして、自分のイメージに気付くことができるようにする。
- 「材料の組合せ方の工夫」「自分や仲間の作品を見て感じたこと」を観点に振り返り、交流する場を設定する。そうすることで、自他の表し方のよさをとらえるとともに、仲間と学ぶよさを感じるができるようにする。

3 目 標

- 光を通す材料の組合せ方を工夫して、思い付いたものになるように立体に表すことができ


るようにする。

- 光を通す材料の組合せの感じについて仲間と交流しながら、工夫して製作したり、互いの表し方を見合ったりすることの楽しさを味わうことができるようにする。

4 評価規準

造形への関心・意欲・態度(関)	発想や構想の能力(想)	創造的な技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
○ 光を通す材料を組み合わせ、立体に表すことを楽しもうとしている。 ○ 自他の作品のよさや面白さを味わおうとしている。	○ 光を通すと面白く見える形や色、組合せを考えている。	○ 光を通す材料を組み合わせたり、付け加えをしたり、いろいろ試みながら、表し方を工夫している。	○ 感じたことを交流しながら、形や色、組合せの感じの違いなどを捉え、よさや面白さを感じ取っている。

5 指導計画 18M(6時間) が本時


学習活動	子どもの意識 [一人の子どもの意識を中心に示している]
第1次 光を通す材料の形を変え、光を通したときの見え方を交流し合う 6M(2時間)	
学習内容 ・光を通す材料への関心(関)	
<input type="checkbox"/> 材料の形を変え、光を通したときの見え方を交流する (6M) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光を通す材料をみんなで集めたよ。暗い所でLEDライトの光を当ててみるのだね。光がすき通ってきれいだね。先生が、ペットボトルばさみを使って、ペットボトルをいろいろな形に変えているよ。私たちもやってみよう。やわらかいペットボトルは、くしゃくしゃにすることができるね。光を通すと、どんな感じに見えるかな。わあ、すごく光るよ。氷みたいだな。他の材料も光を通すと、見え方が変わるかなあ。Bくんは、材料を組み合わせているね。光を通すと、夢の世界みたいで、素敵だな。光がすき通る「ゆめのせかい」をつくっていこう。
第2次 光を通す材料を組み合わせ、 「ゆめのせかい」をつくる 9M(3時間)	
学習内容 ・形や色などの感じを基にしたイメージ(想) ・自分の思いに合った表し方の工夫(技)	
<input type="checkbox"/> 光を通すと面白く見える材料の組合せ方を工夫する (3M) <input type="checkbox"/> 飾りなどを付け加え、自分の思いに合った「ゆめのせかい」をつくる (6M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前の時間に、光を通すと面白い形を見つけたね。Bくんは、ラップをたまごパックに入れていたよ。私も材料を組み合わせよう。くしゃくしゃのペットボトルを3つ合わせて、光を通すと、明るくなったよ。氷のお城みたいだ。Cさんは、ペットボトルの底を2つ合わせて果物の形にして、中にラップを入れているね。Cさんは、果物に色をつけたいのだった。色セロハンを使ったらどうかな。 ・ 今日は、色セロハンを使ってみるよ。光が通る透明カラーシートもあるね。何色にしようかな。青色を四角に切って貼って、窓みたいにして。光が通った感じを確かめよう。見て見て。青く透き通ってきれいでしょ。氷のお城にぴったりな色になったよ。私の「氷のおしろ」はすぐ倒れてしまうな。中に水を入れると倒れないとDさんが教えてくれたよ。水を入れて光を通すと、キラキラしてきれいだね。もっと素敵な「ゆめの中の氷のおしろ」になったよ。
第3次 みんなで「ゆめのせかい」を鑑賞する 3M(1時間)	
学習内容 ・自他の作品のよさや面白さ(関) ・形や色、組合せの感じの違いなどをとらえること(鑑)	
<input type="checkbox"/> 仲間と作品を並べて、鑑賞する (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなと作品を並べてみよう。Dさんと私の作品は青っぽい色の感じが似ているね。一緒に並べてみようよ。○さんたちは、遊園地みたいに作品をつなげているね。よし、光を通してみよう。図工室の電気を消すよ。せえの。うわあ、「ゆめのせかい」にいるみたいだ。

6 本時案 【平成27年11月27日 8:55~9:40 図工室】

(1) ねらい 光を通す材料の組合せについて仲間と交流し、思い付いたものになるように表し方を工夫して立体に表すことができるようにする。

(2) 学習過程

[A児は指導計画に示した子ども]

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 光を通す材料の組合せについて話し合う (5分)</p> <p>学習内容 ・光を通す材料への関心(関) ・自他の作品のよさや面白さ(鑑)</p> <p>・ 前の時間に、みんなでたくさん「光を通すと面白い形」を見付けたね。材料を組み合わせている人もいたよ。</p> <p>B ぼくは、たまごパックの中に、くしゃくしゃにしたラップを入れてみたよ。光を通してみると、けむりみたいで面白いよ。</p> <p>C 本当だ。ふわふわの綿みたいにも見えるよ。</p> <p>・ 光を通す材料を組み合わせて、「ゆめのせかい」をつくってみよう。</p>	<p>○前時に見取った子どもの材料の組合せを紹介し、交流する場を設定する。そうすることで、製作への見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○光を通した見え方を「試す」場を設定する。そうすることで、自分の感覚や活動をとおして、光を通す材料の組合せの感じを捉えることができるようにする。</p>
<p>② 光を通す材料の組合せ方を工夫してつくる (33分)</p> <p>学習内容 ・形や色などの感じを基にしたイメージ(想)・表し方の工夫(技)</p> <p>A くしゃくしゃにしたペットボトルを3つ合わせてみたら、もっときれいかな。くっつけるときは、ホットボンドを使うのだね。すぐに、しっかりくっつくね。</p> <p>C 私は、ペットボトルの底を切り取った形を2つ合わせて、果物をつくらう。Bくんのように中にラップを入れてみようかな。</p> <p>・ 「おためしボックス」の中でどんな感じか見てみよう。</p> <div data-bbox="197 1211 959 1267" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>光を通すと、どのような見え方になりましたか。</p> </div> <p>A 光を通すと、1つのときよりもっとキラキラして明るくなったよ。氷のお城みたいだよ。</p> <p>C 私のも前より明るくなったよ。果物の中に何かが入っているみたいだよ。</p> <div data-bbox="995 1361 1078 1464" style="text-align: right;">  </div> <p>B ぼくは、たまごパックとプラスチックのコップとスプーンを組み合わせて、ロボットをつくったよ。暗闇で手足が光るよ。</p> <p>・ 他の材料も組み合わせてつくってみよう。どれがいいかな。</p> <p>・ よし、できた。「おためしボックス」の中で作品を見てみよう。見て見て。UFOが光っているみたいでしょ。</p>	<p>○途中鑑賞する場を設定し、子どもたちの発言やつぶやきを、形や色、組合せの感じを基に板書上に分類・整理する。そうすることで、仲間と比較したりつなげたりして、自分のイメージに気付くことができるようにする。</p> <p>○「材料の組合せ方の工夫」「自分や仲間の作品を見て感じたこと」を観点に振り返り、交流する場を設定することで、自他の表し方のよさを捉え、仲間と学ぶよさを感じるようになる。</p>
<p>③ 本時の学習活動を振り返る (7分)</p> <p>学習内容 ・形や色、組合せの感じの違いなどをとらえること(鑑)</p> <p>A 材料を組み合わせると、氷のお城を思い付いたよ。だから、ゼリーのカップを上にかぶせて、氷の屋根にしたよ。</p> <p>C Bくんを見て、果物の中にラップを入れてみたら、白くなったよ。今度は、果物に色をつけてみたいな。</p> <p>A それなら、2年生のときに使った色セロハンはどうかな。</p> <p>C 次の時間にやってみよう。どんな感じに見えるか、楽しみだな。</p>	<p>○「材料の組合せ方の工夫」「自分や仲間の作品を見て感じたこと」を観点に振り返り、交流する場を設定することで、自他の表し方のよさを捉え、仲間と学ぶよさを感じるようになる。</p>